

1 平均正答率等（県の平均正答率と比較して）について

- 【小学校】 国語では▼3.0%、算数では▼2.0%下回りました。
 【中学校】 数学は△2.0%、英語は△1.0%上回り、国語は同じ結果でした。

2 教科別について ○成果 ▼課題

【小学校】

- (国語) ○ 「読むこと」 目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約する問題
 ▼ 「言葉の特徴や使い方に関する問題」
 漢字を文の中で正しく使うこと、日常よく使われる敬語の問題
 → **漢字の書き取りや語彙を豊かにする指導が必要である**と考えます。
- (算数) ○ 「数と計算」 領域の「知識・技能」
 加法と乗法の混合した整数の計算や分配法則を使った計算の問題
 ▼ 「変化と関係」 百分率で表された割合についての問題
 → **基準量と比較量の関係を正しく捉え、割合についての理解を深める授業改善に取り組んでいきたい**と考えています。

【中学校】

- (国語) ○ 「話すこと・聞くこと」
 インタビュー前に準備したメモについて説明したのものとして、適切なものを選択する問題
 ▼ 「読むこと」
 二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する問題
 → **読書の意義を考えさせたり、生徒が主体的に文章を読むことができるような授業改善に取り組みたい**と考えています。
- (数学) ○ 「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点、特に「数と式」（自然数の意味理解の問題）
 ▼ 記述式の問題
 → **習得した用語を論理的かつ的確に説明する場面を授業等においてより多く確保していきたい**と考えています。
- (英語) ○ 「知識・技能」「読むこと」
 英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する問題
 ▼ 「聞くこと」 情報を正確に聞き取る問題
 → **ALTを活用するなどして、生きた英語に触れる機会を大切にしたい授業づくりが大切である**と考えています。

3 児童・生徒質問紙について ○成果 ▼課題

- 「自分にはよいところがある」と答えた割合が、小中学校ともに全国・県平均を上回っています。
 → **自尊心や自己肯定感が育まれている**と考えられます。
- 「将来の夢や目標をもっている」と答えた割合が、小中学校ともに全国・県平均を上回っています。
 → **自分の将来を見通す力や自立心が育っており、今後のキャリア教育につながっていくもの**と考えます。
- ▼ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と答えた割合は、小中学校ともに全国・県平均を下回っています。
 → **家庭との連携を図り、学習習慣の確立に努めます。**
- ▼ 「平日の読書は30分以上である」と答えた割合が、令和3年度から徐々に低下しています。
 → **朝の時間や補充の時間等を活用し、読書の機会を積極的に設けるよう、学校に働き掛けていきたい**と考えています。

今後も、教師と児童生徒との信頼関係、育まれた自尊心や自己肯定感を生かしながら、児童生徒が目標をもって主体的に学習に取り組む態度を育てていきたいと考えています。